

第1号

新風会だより

発行：平成19年12月

礒崎陽輔新風会

大分市長浜町2-12-10

電話 097(535)8260

<http://www.17.ocn.ne.jp/isozaki/>

ヨウスケが行く

参議院議員 礒崎陽輔

こんにちは。礒崎陽輔です。

参議院議員になって4か月が過ぎました。大変な逆風の中での選挙でしたが、皆さんの強い後押しを頂き、当選することができました。

この間、国会では、総務委員、議院運営委員会委員、政治倫理・選挙制度特別委員会委員及び少子高齢化・共生社会調査会委員に就任しました。自民党では、参議院国会対策委員を務めるほか、道州制推進本部幹事兼事務局次長、新聞局次長及び生活安全団体委員会副委員長に就任しました。参議院では会派所属議員が減っただけに、大忙しです。

また、党内では、福田赳夫先生の流れをくみ、森、小泉、安倍、福田と四代続けて総理・総裁を輩出した清和政策研究会に属することとなりました。私は、小泉総理の時代に、内閣参事官として官邸勤めをし、福田官房長官、安倍官房副長官にお仕えしていました。その縁もあってのことです。

私は、公約の実現を図るため、特に地方行財政、農林水産業、障がい者・高齢者福祉関係の会議には必ず参加して、意見を述べています。農業や福祉の分野も、随分勉強しました。自民党の朝の会議は、午前8時から始まります。ほぼ毎日欠かさず出席し、朝食も出るので、自宅で朝食を摂ることが余りなくなりました。お昼も含め、そんな会議が多いときは一日5～6本あります。

国会の方は、与野党逆転し、大変です。と言っても、粛々と進めなければなりません。総務委員会では、郵政民営化の問題と地方交付税の増額に



ついて、1時間増田総務大臣等に質問しました。本会議や委員会は、毎日あるわけではありません。残った時間で、陳情を伺ったり、役所に説明を求めたり、物書きなどをして過ごしています。もちろん、夜も各種の総会や会合などが毎日のように開かれます。

今、参議院では、野党が多数派です。したがって、衆議院では与党の意見が、参議院では野党の意見が院の意見となります。法律案は、原則として、両院で可決されなければ成立しません。このままでは、法律は一本も成立せず、国会が機能停止に陥ります。福田総理は頭を下げて、民主党に話し合いを呼び掛けています。その成果もあり、被災者支援法の一部改正案は、与野党合意ができ、全会一致で成立しました。しかし、その他の分野では、なかなか野党は話し合いに応じてくれません。

私は、衆・参で意思が異なる以上、与野党謙虚に話し合いをするのが憲政の常道であると考えます。話し合いをすれば、合意ができる法律案もたくさんあるはずですが、ただただ解散を求めて話し合いに応じず、国会を機能停止に陥らせている野党の態度は、問題があります。私も、野党に対する呼び掛けを続けていく考えです。

大変な国会ではありますが、一番大切なことは国民の生活をどう支えるかということです。地域の経済を活性化し、お年寄りや障がい者の生活をきっちりと支え、生活できる農林水産業を振興するため、しっかりとがんばってまいります。どうか皆さん、引き続き、応援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



熱きふるさとの 思い国政へ

大分市 秦 英子

上野ヶ丘中学校等で、数学の教師を歴任。退職後は、社会福祉活動に精力的に取り組み、毎週、福祉施設で自ら持参した花を活け、入所者をなごませている。

11月2日、早朝いつものように新聞に目を通す。私の目に飛び込んできたのは「地方の厳しさ事例に初質問」という磯崎陽輔参議院議員のふるさとを思う頼もしい初質問の記事でした。思わず胸が熱くなりました。

私が上野ヶ丘中学校で教鞭をとっていた時の教え子のひとりが、磯崎議員です。中学時代の議員は、人の気持ちがわかる優しい、そしてとてもお茶目な少年でした。

当時、私はバス通勤をしていましたが、ある日バスに乗っていると「秦先生～！」という声が聞こえてきました。窓越しに外に目をやると、磯崎君が自転車で追いかけてきています。そして磯崎君は全速力で自転車をこぎ、次のバス停で待ち伏せし、ニコニコ笑いながら「秦先生～」と手をふってくれました。私を驚かそうとしたのでしょうか、また次のバス停でも同じように待っているではないですか。あまりにおかしくて、かわいくて、あの時のことは今でも鮮明に覚えています。

そんなユニークな少年だった磯崎君ですが、当時「先生、僕は将来政治家になって人の役にたつような仕事をしたい」と語ってくれたことがありました。中学時代に一途に政治家を志してから30年間、着実に政治家としての資質をしっかりと磨いて、ふるさと

と大分を豊かにするために帰って来ました。

が、しかし、志を果たすには、あまりにも苦しい、厳しい選挙戦でした。約一年間にわたって大分県中を駆け巡り、農漁村をはじめとして、県民の一人一人の厳しい生活を自分の目でしっかりと確かめ、肌で感じとりました。その熱い思いが、質問のはしばしに「地元大分では・・・」という言葉に表れていました。ふるさとを事例にとって、国会で地方の厳しい実情を訴えた磯崎議員の頼もしい初質問に、支援者の一人として、心から感動しました。

しかし、今はやっと政治家として一步を踏み出したにすぎません。今後は、この一年間にわたってお聞きした県民一人一人の声をきちんと国政に届け、一つずつでもその実現に向けて努力することが、磯崎議員に課せられた公約であると思います。

特に、大分県民の声として、クリーンな政治に期待し、そして都市と地方の地域格差の是正等重要課題に真剣に取り組んでほしいと願っています。

最後に、苦しかった選挙戦で力強い熱いご支援をくださった方々を忘れることなく、また初質問の新鮮な感動を胸に、豊かな明るい大分県の構築に向けて、着実に一步一步政治家として歩み続けてくれることを祈念しています。

国会豆知識 vol.1

■「二院制」

7月29日の参議院選挙の結果、衆議院と参議院で多数派が異なり、ねじれ現象が生じています。そのため法律案が成立せず、国会の機能停止が懸念されています。そこで、今回は、「二院制」における衆議院と参議院の違いについて、まとめてみました。

	衆議院	参議院
議員定数	480人 小選挙区 300人 比例代表 180人	242人 選挙区 146人 比例代表 96人
任期	4年 (解散の場合は、その時点で任期終了)	6年 (3年ごとに半数改選)
選挙権	満20歳以上	満20歳以上
被選挙権	満25歳以上	満30歳以上
選挙区	小選挙区(全国を300区) 比例代表(ブロック単位で11区)	選挙区(都道府県単位47区) 比例代表(全国1区)
解散	あり	なし
特色	国民の意思や世論をより強く反映できる(解散があり、任期が短いため)	長期的な視点で調査・審議できる(解散がなく任期が長い)

対談

第1回 「教育」について

日出町 吉野雅世
参議院議員 磯崎陽輔

—吉野さんは、3人のお子さんがいらっしゃるようですが、本日は「教育」をテーマに、気になっている点などお話ししていただけますか？

(吉野) 私が子供のころ、放課後は友達と遊んだものですが、今は小学生も高学年になると塾に通うのがあたりまえになってきました。私も、やはり、学校の授業だけでは不安です。でも、塾に通わせるとお金がかかるので、親は大変です。

(磯崎) 私は、塾が悪いとは言いませんが、塾に通わせなくては不安だという今の教育の在り方は、間違っていると思います。私が子供のころは、塾はなく、学校の授業をしっかり受けていれば十分でした。それに吉野さんがおっしゃるとおり、塾にかかる費用の捻出はなかなか大変ですよ。

塾に通わなくても、学校でしっかりと学力が付くというのが本来の在り方だと思います。



吉野さんとお子さんの佐和子さん(中2)と瑠美ちゃん(5歳)

(吉野) 我が家には中学2年生の子がいますが、まさに「ゆとり教育」のまっただ中で育ってきました。しかし、実際には、塾通いで忙しくしています。来年から高校受験が「全区一校」制度になりますが、学校から十分な資料がもらえないので、不安です。でも、塾に行けば、現在の学力を基に志望校への合格率などを出してくれるので、やはり安心します。

学校は、「全員平等」ということで、成績の順位を教えてくださいません。私が学生だったころは、順位を知ることができ、それが励みになっていたのですが。

(磯崎) 私には、現在高校2年生の娘がいます。娘が高校受験した際、中学校は全く進路指導をしてくれず、どこの高校を受験させるべきなのか迷いました。私は学校の序列化が良いとは思いませんが、公立学校が受験をあおらないという方針を掲げている一方で、塾がそれを補完している今の状況はおかしいと思います。学校は、進路指導も

含め、しっかりと子供たちに勉強を教え、より高度な内容を学びたいという子供が、更に塾で勉強するというのが、学校、塾のそれぞれの本来の役割だと思えます。

(吉野) あと気になるのは、昔は学校の先生は絶対的な存在でしたが、最近は親御さんの発言力が強くなり、先生方が戸惑っているように感じることがあります。先生と親御さんの関係が違ってきているなど・・・。

(磯崎) そうですね。今の親御さんはよく勉強されていますし、少子化の影響で子供一人一人に対する期待も大きくなっていますから、学校への要求も多くなってきているのでしょう。そういう状況の中、先生方は本当によくがんばっていらっしゃると思います。

ただ、私は学校の先生にすべて任せるのではなく、行政や地域が学校をサポートし、学校を孤立させないことが必要だと思います。親と共に、学校、行政、地域が共同して子供を育てていくことが大切です。

(吉野) そうですね。おじいちゃん、おばあちゃん目から、子供を見てもらうことも大切かと思えます。

(磯崎) そのとおりです。最近は、同級生としか遊べない子供が増えています。年上、年下ともコミュニケーションがとれる子供を育てるには、やはり地域の力は欠かせません。

学校でしっかりと勉強を教え、行政と地域が学校をサポートする、そういうコミュニティーを作り上げていくことが今後ますます必要になってくるでしょう。

大人のコミュニティーの復活も重要です。そして、コミュニティー全体で子供を育てていく、そんな社会を作っていきたいですね。

新風会ひろば



碓崎陽輔新風会 御入会のお願い

碓崎陽輔新風会では、会員を募集しています。碓崎陽輔の活動を応援して下さる方、是非御入会をお願いします。

入会のお申込みは、碓崎陽輔新風会まで御連絡ください。ホームページからお申込みいただけます。年会費は、1,000円です。下記の口座まで、お振り込みください。

■口座番号/郵便振替 01730 - 4 - 118483 加入者名/碓崎陽輔新風会

事務所移転のお知らせ

碓崎陽輔大分事務所が、12月1日、下記住所に移転しました。

まち中の便利な場所に移転することにより、皆様との交流を一層深めてまいります。なお、電話番号は、変わりません。

■新住所

〒870-0023
大分市長浜町2-12-10昭栄ビル1階
電話 097(535)8260

碓崎陽輔のホームページ

<http://www17.ocn.ne.jp/isozaki/>

ホームページから、議員の質問の様子をビデオで見ることができます。

